

# ひらおか

## 健康で身近な環境づくり



平岡地区町内会連合会  
会長 大橋 良一

平成十三年度の町連の総会で、会長の重任を受け、責任の重大さのあまり身の引き締まる思いでお受けした次第です。

時代のニーズの多様化に柔軟な対応をしながら、二十一世紀を担う次の世代にすぐれた地域社会を継承しなければなりません。

そのためには、これまでにある平岡町連の多くの活動の成果を踏まえ、更なる地区の発展を目指して一層の創意工夫とそれに劣らない情熱をもってその任に当たらなければならないと思っ

ています。

町内会活動も、一部特定の人の活動にとどまらず、誰もが参加できるような組織になって欲しいと願うこの頃です。

近年、人間の生活や生産活動をめぐる環境の変化に対する関心は高まっており、私達が今快適さと便利さに魅せられて行なっている生活の中にも環境が壊されたり歪められたり変質されている例も少なくありません。

しかし、この平岡地区は梅公園を軸に、緑豊かな安

心して暮らせる方向を目指し、パートナーシップ的な手法をこらして努力していきます。

また、高まりつつある少子高齢化社会の進行にともない医療、介護、福祉などの施策に対する期待も大きくふくらんでいます。

しかし、これらの環境問題、福祉の問題がいかに改善、進歩いたしましたも、当の人間が健康でなければそれらの恩恵を受けることはできません。つまるところ健康に勝るものはありません。自分の健康は自分で守ることをモットーに健康づくりの工夫をすすめなければなりません。

以上の「願い」実現のために力をつくすつもりです。会員のみなさまには、より一層のお力添えを心よりお願い申し上げます。ご挨拶いたします。

平岡地区町内会連合会  
清田区平岡7条3丁目9-25  
平岡連絡所内  
☎ 883-7100  
発行責任者 大橋 良一  
編集責任者 渡辺綱太郎

### 平成13年度

### 平岡地区町内会 連合会役員名簿

顧問	長岡 武夫	南平岡町内会長	大橋 良一
顧問	塚田 勇次	平岡春風台町内会長	大橋 良一
相談役	岩本 剛人	平岡団地自治会長	館下 昇
相談役	笹出 昭夫	平岡親和会町内会長	杉本 秀雄
会長	大橋 良一	平岡町内会長	土岐 政美
副会長	坂東夫 佐子	パークシティ平岡町内会長	木下日出男
副会長	木下日出男	平岡第一自治会長	西 敏雄
副会長	中村 知治	平岡第二町内会長	森 勝利
監事	安井 清治	平岡第三町内会長	三浦 宣昭
監事	薄木 泰雄	平岡第五町内会長	山崎 和夫
総務部長	森岡 和夫	平岡北町内会長	滝本 敏男
財務部長	相原 光男	平岡公園町内会長	関口 岩雄
福祉厚生部長	石田 義成	平岡小学校前町内会長	山下 哲雄
保健衛生部長	菅野 岑生	平岡雪割草町内会長	小沢 正人
防災部長	伊藤 誠	平岡梅ヶ岡町内会長	梶田 信一
防犯部長	伊藤 誠	平岡シユバールビング	中島 正幸
交通安全対策部長	関書 仁男	平岡シユバールビング	大久保武巳
青少年育成部長	中野 敏行	平岡三条団地自治会長	菊田喜美雄
体育部長	木下日出男	平岡南団地自治会長	福士 貢
生活環境部長	唐沢 継則	シユバールビング2番館	片平 紀昭
広報部長	武田 昭夫	自治町内会長	
女性部長	渡辺綱太郎		
古川 洋子			
町連理事			
平岡東町内会長	山本 義雄		
平岡ミサワ町内会長	佐藤 佑一		
平岡コープタウン町内会長	伊藤 武治		
平岡しんたく自治会長	谷 渡		

街づくりのパートナーとして



清田区長 河村 功一郎

四月一日付けで、三代目の清田区長に就任して以来早いもので半年を迎えようとしております。この間、区民の皆さんとも直接お会いする機会を得て参りましたが、特に平岡地区の皆さんとは「町連総会」「地区懇談会」「よさこいソーラ祭り」「交通安全街頭啓発」などでお目にかかり、また、五月の梅の季節には、平岡公園で区民の皆様方と共に個人的にも楽しく観梅をいたしました。この平岡地区は梅公園ばかりでなく、北野通りや平岡中央通りを始めとして、皆さんの努力の結果、花に囲まれた美しい街づくりが進んでいることを実感しているところで

特に平岡地区は次代を担う子供たちが沢山住んでいる街でもあります。この子供たちが健やかで思いやりのある人間に育っていくよう「平岡ハーティマインド推進運動」を毎年開いていることを聞いております。しかし、一方では交通事故が全道的に多発しており、この平岡地区もその例外ではありません。子供たちを交通事故から守るためにも横断歩道の新設や、違法な青空駐車を防ぐため「平岡循環通りの駐車禁止」の請願が出されています。清田区としても千人以上の住民の皆様の名の重さに心を致し、請願の実現に向け協力しているところであります。このように若い街清田にはありますが、徐々に高齢化が進みつつあることも事

実です。高齢者世帯の暮らしやすい街づくりの一環として、市では、今年から全市で福祉除雪を実施することとしております。平岡地区は福祉の街推進センター「ふれ愛梅の実広場」事業に熱心に取り組んでいただいております。高齢者の生き甲斐づくりの「陶芸教室」や独居老人を対象とした「日帰り旅行会」の開催、更には介護を必要としない健やかな生活作りの「すこやか倶楽部」の実施など、清田の中でも最も福祉の意識が高い地区の一つですが、今冬の福祉除雪のボランティアにも是非多くの方々にご参加いただき、共に手を取り合って全ての方にとって住みやすい街にするためご協力いただきたいと思います。このように綺麗な住みやすい街の前提は、安全な街であることです。不時の災害から住民を守るため、行政も最大限の努力をしておりますが、被害の防止や軽減に不可欠なのは住民自身の防災への備えであります。平岡地区は全清田に先駆けて「平岡地区防災訓練」を

毎年開催しておられ、大変敬服しているところであります。今年は8月31日に清田区全体の防災訓練を「平岡中央公園」を会場として行う予定をしておりますので、是非とも沢山の方々に参加していただきますようお願いいたします。最後になりますが、全ての住民の皆さんにとって住みよい街をつくることは、行政の力だけでできるものではありません。住民の皆さんが中心となって行う街づくりのお手伝いを行政がするといった方が正しいのかもしれませんが、いずれにしても、私達行政も全力をあげて街づくり市政に取り組みますので、今後ともよろしくお願いいたします。(8月3日寄稿)



美しい時代へ — 東急グループ



札幌 東急ストア

平岡店

営業時間あさ 10:00~よる10:00  
土・日曜はあさ 9:00~よる10:00

札幌市清田区平岡7条2丁目2-1

TEL 881-4109

P450台

# がんばる事業部

## 平岡地区「町連」平成13年度スタート

町内会連合会

総務部長 森岡 和夫

平岡地区「町連」の概要（七月一日現在）、世帯数七千八百十八世帯、人口二万五千五百二十六人、町内会連合会を支える組織として町内会、自治会が併せて二十三団体、事業部十一部、役員二十二名「氏名別記」

平成13年度定期総会は、四月二十一日各地区代表・代議員合わせて九十四名の出席で開会しました。

開会の辞に始まり、大橋会長の挨拶の後、議長として小澤小学校前町内会長を選出し議事が進行しました。事業報告、決算報告など各部の説明がなされた後、質疑・応答があつて報告事項についてご承認を受けました。続いて次年度の事業計画及び予算案の説明があり、これも原案通り大拍手をもってご承認をいただきました。

次に、役員の選出について提案があり、大橋会長、他三役を含め役員の発表が

なされ平岡町連二十一世紀の幕明けとなりました。

やがて、懇親会にうつり笹出相談役他各界名士のご来席を賜わり各人の労のねぎらいを受けると同時に今後の活躍への励ましを戴きながら楽しく親睦をはかることが出来ました。

あらためて、町連事業の何と多くあることか。十一の事業部が、年間九十件の会議、催し等々を行なっています。子どもから高齢者まで何千人の人が参加して勉強、親睦を計っているに違いありません。

特に、青少年育成部、体育部、交通安全対策部等が多数の事業を行ない、その都度準備に苦労されています。部長、副部長に感謝致しながら、各事業には多数の参加者があることを念じてやみません。

最後に、私儀四年前生活環境部にあつて皆様のご指導を受けて参りましたが、この度大橋会長より総務部長の役の委嘱を受け「井の中の蛙、大海を知らず」で



はありますが、諸先輩のご指導を仰ぎ努力させて頂きます。宜しくお願い致します。

マザーテレサの「愛の言葉」より

「微笑は天の賜です。その賜の微笑が、今は家庭、社会に見うけることが難しい。このことは、経済不況よりも増して悲しいことである」

### 表彰のご紹介

○札幌市長表彰  
前平岡団地自治会長  
山之内慶三様

前平岡町連防犯部長  
塚田 順治様

○清田区長表彰  
前平岡町連副会長  
植松 利武様

前平岡町連広報部長  
山下 松寿様

前平岡町連女性副部長  
木下 玲子様

○豊平防犯(協)連合会長表彰  
前平岡町連防犯部副部長  
畔原 清彦様

○クリーンさつぽろ  
衛生推進連絡(協)会長表彰  
前平岡町連生活環境部長  
森岡 和夫様

以上、七名の方々は、いづれも長年にわたり地域の発展に寄与された功績により受賞されたものです。

平岡地区  
福祉のまち推進センター  
「ふれ愛梅の実広場」  
運営委員会

委員長 ☆石田 義成  
副委員長 ☆大橋 良一  
委員 ☆坂東夫 佐子  
委員 ☆松本 正  
委員 ☆前島 義弘  
委員 ☆相原 光男  
委員 ☆木下日出男  
委員 ☆中村 知治  
委員 ☆古川 洋子  
委員 ☆西川 幸子  
委員 ☆菊地 和枝

◀◀地下鉄大谷地駅から、新千歳空港へは便利な空港連絡バスで...▶▶

**地下鉄** **大谷地駅** **40分** **新千歳空港**

片道 710円 北都交通と併せて15分間隔で運行

札幌都心部、地下鉄宮の沢駅・麻生駅、JR大森駅からも運行しております。

**大谷地～新千歳空港の往復券(710×2)と、200円券2枚がセットになって1,420円【400円引!!】**  
**空港割引キップ発売中!!** (大谷地ターミナル・新千歳空港中央バスカウンター・札幌ターミナルにて発売しております。)

<http://www.chuo-bus.co.jp> 中央バス大谷地案内所 ☎(011)891-6388

委員 北川 栄一  
 ☆横山由美子  
 長橋扶史子  
 木下 美栄

### 自分たちの町は

### 自分たちで守ろう

防災部長 伊藤 誠

平岡地区防災訓練は、災害時における地域自主活動意識の高揚を目的として、「自分たちの町は自分たちで守ろう」を掲げ、いざという時に備えて、災害に強い町づくりを目指して、平成十一年度に第一回を開催しました。今年第三回目を迎えて二百四十名を越える参加者でした。参加の皆さまと町内会役員の方々のご努力のおかげで防災意識が向上してきた事と思います。

訓練内容は、地震発生を想定し、一時避難所のぼだいじゅ公園とわかば公園に避難した平岡地区住民を町連防災部、交通安全対策部、防犯部及び消防平岡分団の協力により本会場へ誘導し煙道通過訓練を行い、自主防災組織に支給されている資器材の使用説明を受け、初期消火（消火器・バケツ

細羽恵美子  
 坂井久美子  
 ☆印は、常任委員

リレー」等を体験しました。その後、分団による救助搬送訓練等の展示を拝見し平岡住民として力強く感じました。また、少年消防クラブと町内会の方々による初期消火を体験し、火点的を上手に落としました。最後は、町連女性部と日赤奉仕団の皆さんによる給食給水訓練で、参加者全員に乾パン、パックライス、飲物などが配られ、本番さながらの訓練でした。参加者の皆様方にお礼申し上げます。さて、清田区では毎年防



災総合訓練を行っています。今年度は平岡地区が当番となり、八月三十一日（金）平岡中央公園を会場に開催します。平岡地区の皆様には一人でも多くの参加をお願いいたします。

（8月3日寄稿）

### 平岡町連主催

### 春のパークゴルフ大会

### 『雨にも負けず』

体育部副部長 蠣崎 理

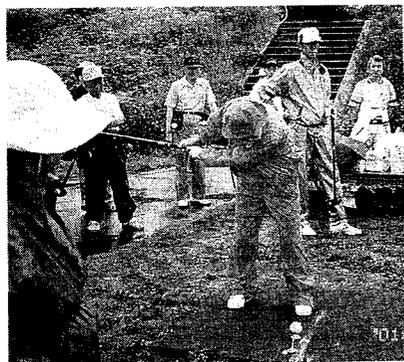
七月一日、朝から雨、心配をしてお早くから問い合わせの電話が入っている。

七時過ぎ、パークゴルフ場へ向かう。唐沢体育部長は、もう来ていた。西の空は明るくなってきている。雨もたいした降りじゃない、ギリギリまで待つことにする。

集合時間の八時近くになると、見なれた顔が続々と姿を見せ始め、最終的には申し込みの八割くらいが集まってくれた。

あわてて、組み合わせをやり直し、なんとか開会を宣言し、大橋町連会長から激励の挨拶をうけ、いよいよ北野コース十番と清田コース一番に分かれて同時にス

タート、日頃鍛えし技を存分に見せてくれるだろうか、途中どんな好プレーが生まれるかは本部席では知るよしもないが……。



やがて、プレーを終えてあがって来た人の顔を見ると殆んどの人が満足そうな表情で帰ってくるのを見てひと安心。

集計が始まる。ホールインワンも出ているようだ。心配していた雨も途中で上がりよい天気になった。女性の部の優勝は、同スコアの二人がサドンデスのプレーオフに突入した。一回目では、決着がつかずもう一回……。

結果は、次の通りです。  
 大会成績  
 ○男子の部  
 優勝 岡田 進 109 ロット

# JUSCO

ジャスコと90の専門店  
 イオン札幌平岡ショッピングセンター  
**無料大駐車場 4000台**  
 札幌市清田区平岡3条5丁目276-1  
 TEL.011-889-5001

準優勝	菅原 勉	111
三位	増井清志	114
〇女子の部		
優勝	高橋信子	122
準優勝	水口松子	122
三位	尾崎イタ子	127
〇参加数		
男子	四十四名	
女子	十八名	
計	六十二名	

### 「ふれ愛梅の実広場」

#### 只今奮闘中!

ふれ愛梅の実広場会長

石田 義成

#### (一) 高齢者に生きがいを

「ふれ愛梅の実広場」が、平岡地区「福祉のまち推進センター」として平成八年に発足して五年が経過いたしました。

この間、故大山運営委員長さんの並々ならぬご努力によって、支え合う地域社会の環境づくりが進められ今日に至っています。

近年、高齢化が一層すすみ平岡地区においても高齢の夫婦世帯、ひとり暮らしの高齢者が年々増加の傾向にあります。時々報道される孤独死、病気で倒れた時の

救急事故のニュースなどにふれる度、このような悲しい事態の起きないよう平素から地域でのふれ合いや助け合いの必要を感じていきます。

「ふれ愛梅の実広場」の組織としては、町連関係者による運営委員会、民生委員、各町内会推薦の福祉推進委員によって事業が進められています。

- ※主な取り組みとして
- (1)ひとり暮らし高齢者の安否の確認(訪問活動など)
- (2)日帰り旅行(茶話会の開催)
- (3)除雪援助等の生活支援
- (4)健康相談、心配ごと相談

等を計画、実施し、高齢者が家に閉じこもらないよう交流の輪を広げていきたいと思っておりますので今後とも地域の皆様の一層のご理解とご協力をお願いいたします。

#### (二) お楽しみ日帰り旅行

七月十六日、早朝からの大雨で実施が危惧されましたが、その後小雨となり予定通り出発しました。お招きしたひとり暮らし高

齢者の方々と同伴の福祉推進委員と合わせて四十八名の参加で恵庭温泉ラフォーレに向いました。その途中恵み野地区のガーデンングエリヤを巡回、住宅街に連続する美しい花壇を觀賞、続いてサップポール北海道工場を見学しました。約三十分の歩行コースで参加者一同やや疲れがみえましたが、たどり着いたゲストハウスでのビールやジュースの試飲サービスを受け、再び元気を取り戻したようでした。



温泉到着後は、昼食・休憩・入浴に加えて同行した保健婦さんによる健康相談等でゆつくりと充実した時間を過ごし帰路につきましました。帰りには、参加の皆さん

から次回についての質問や要望などが出されるなどして、楽しくもまた有意義な日帰り旅行が出来ました。

#### 交通安全意識の高まる時

交通安全対策部長

中野 敏行

平成十三年度第一回地区別交通安全運動「街頭啓発」を、七月十一日午後二時から約三十分の間、東急ストア平岡店の前(東部4号線、七条三丁目)交差点を中心に、安全運転を訴えました。実施に先だって、店内敷地で開会セレモニーを行いました。

各町内会から約一三〇名、平岡地区老人クラブからも相当数、町連女性部の方も多数出席されました。さすが交通指導員は、全員の参加でした。

開会式は、黄みどりの梅を象徴した大きな旗のひるがえる下、町連会長の大橋良一さん、つづいて清田区長河村功一郎さん、札幌方面豊平警察署からも出席して戴きそれぞれにねぎらいと激励のご挨拶をして戴きました。

美しい時代へ — 東急グループ



# 東急アルテ

## 平岡店

営業時間あさ 10:00~よる10:00  
土・日曜はあさ 9:00~よる10:00

ひらおか東急2F  
札幌市清田区平岡7条2丁目2-1  
TEL (011) 882-8109

**P450台**



参加のみなさんは、それぞれの励ましを胸に、黄色の国旗を持ち平岡通りを東部4号線の交わる4本の道路の両側に並び、その旗の量で走行する運転者に『交通安全』を訴えました。いつもは、車の中で啓蒙を受ける側が、この日だけは『安全運転』の標をかけた真剣に安全な運転を訴える姿がありました。訴えながら自らの運転マナーを省りみ弱点を苦笑しているに違ひありません。

モラルが生まれるのではないかと思うのです。こうした街頭啓発の場面が是非、ふと自分の安全思想に立ち戻って考えるチャンスになるとしたら……頑張りなれば……と黄色の旗の長い列を眺めながら感じ入るのです。

**すばやい!**

**保健衛生部の地域活動**

保健衛生部長

菅野 岑生

(一) 草刈機14台と120名で

春の三里川の清掃

平岡地区町内会連合会が毎年実施している三里川の清掃が6月17日午前10時から行なわれ、同地区内23町内会から約120名と草刈機14台と多くのご協力をいただきました。

中村町連副会長が

「みなさんの憩いの場所をきれいにしましょう」と挨拶、その後、里塚橋より左岸約600mの草刈りとゴミ拾いを行いました。

参加者は、一生懸命に手を動かし汗をタオルでぬぐいながら真剣に作業を進め、約一時間程で終了いたしました。

した。

皆さん方の、地域に隣接している自然を大切にしようとする気持ちの表れとされています。

以前は、厚別川を五地区町内会連合会で実施しておりましたが、平岡地区の地域内に三里川がございますので、平成7年より実施されております。この年より毎年100名以上の参加があり、作業時間も大変短縮されて、町連役員一同、参加されるみなさん方のご協力に対し心より感謝申し上げます。

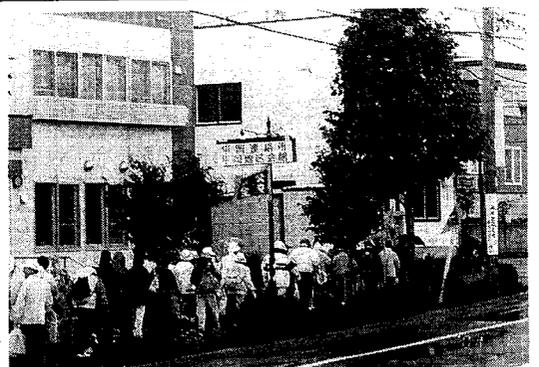
(二) ミニ・ウォーキング

保険衛生部の事業に、もう一つの健康づくりがございます。

特に、日本は急速に高齢化がすすむ中、現在の健康を保持するために、地域ぐるみの健康教室を実施しております。

一昨年までは、医療従事者の健康に関する講演を年三回行なっておりましたが、昨年より健康教室の一回目は、ミニ・ウォーキングを取り入れられました。

昨年のミニ・ウォーキングは、生憎の雨で町内会館



で運動ゲームとなりました。今年も7月8日午前10時より、第2回目のウォーキングの実施となりましたが、昨年同様朝より雨降りです。

**●トピックス●**

**ねりんピックの札幌代表 平岡の老人クラブから二チーム出場**

高齢者「健康福祉祭」

10月6日～9日

於 広島県

去る6月22日、コミュニティドーム「つどいむ」において、第14回全国健康福祉祭広島大会代表決定リーグ戦が行なわれました。

参加45チームが札幌代表を目指して熱戦をくりひろ

年も中止と大変心配しました。午前10時30分頃空も明るくなり70名の参加者の「是非 実施したい」との希望で出発時小雨でしたが平岡公園へ向かいました。以後次第に天気も良くなり、途中コースを間違えたりし45分の予定が、1時間30分程になりました。

しかし、みなさんは疲れも見せず元気にゴールでき、地区会館に用意されたオニギリでなごやかな昼食となりました。

◎健康教室の予定

在宅介護の問題点 11月頃 歯の病気と治療 11月頃

げ、個人技もさることながらチームワークの質を上げて7時間という長い戦いが続きました。

その結果、最後までチームワークを乱さず富樫為佐夫さんを中心に勝ちぬいた「平岡ゲートボール同好会」チームと納谷光治さんを中心に頑張った「平岡長寿会」

チームの平岡勢がこぞって札幌の代表権を獲得しました。

このことは、どちらかと言えば最近伸び悩み傾向にあるゲートボール界に大きな自信と励みをあたえてくれました。

健康福祉祭(ねんりんピク)は、厚生省創立50周年を記念してはじまった全国健康福祉祭で1988年(昭和63年)度から各県持ち廻りで、毎年10月に4日間の日程で開かれます。

その間の延べ参加人数は数十万という規模で行なわれ、スポーツ、レクリエーション、健康関連イベント、福祉、生きがい関連イベントなど多彩な行事が実施されます。

いずれにしても、2チーム12名の代表は、今、毎朝欠かすことなく練習に汗を流し技とともにチームワークに磨きをかけています。

10月には、帽子・ユニホームなどをピシッと決め、秋の広島大会で心をひきしめて頑張ってきてくれるに違いありません。

10月の報告が楽しみです  
ね。

平岡町連結10周年記念企画

『古老が語る 平岡のむかし話』

シリーズ①

私は三代目

北川成好

(一)三十六号線の昔

私は三代目で、石川県から明治二十五年に、じいさんの北川七郎衛右門に連れられて来ました。平成四年でちょうど百年になります。本州の方では、二十代ぐらい続いている家は結構ありますが、北海道で五代ぐらい続いている家はそんなないと思います。

当時、国道三十六号線は室蘭街道といって、今と違って砂利道で、雪解けのころは、馬車の車の心棒までぬかって難儀をしたものです。

昭和六年、北海道が大凶作で、この農事実行組合も初めて救済事業をしました。今の神社の坂の切り下げや急カーブなんかの修正をしました。このとき、土別の連中が、豊平川から砂利を運んでくれて、昭和七年に、室蘭街道に初めて砂利というものが入ったんで

す。それから、今の厚別橋。当時は、丸太で造られていたことから、別名、丸太橋と言われてました。今の、清田小学校の辺りが、室蘭街道の宿場の一つだった。医者もいたし、宿屋もあった。便利になった反面、ばくち打ちのたまり場なんかもできてきた。

札幌の南一条から苦小牧まで十六塚あったんです。豊平川を越え、美園のあたりが一里塚。二里塚は、農業試験場の入り口。そして、三里塚は旧国道の平岡付近にありました。

私の土地の南側から五十町歩ほどが、いつからかわからないが、陸軍用地になっていた。月寒の歩兵第二十五連隊の演習地であったようです。また、月寒小学校の分教場みたいな、寺子屋式のようなものがあつたところから学田(がくでん)と呼ばれていました。

(二)大都会……月寒

私は、月寒の学校へ通いました。そのころ、高等科は月寒にしかなかったもので、二時間ぐらしかけて通いました。その当時は、靴はない、もちろんバスなんかもない、げた履きで朝の暗いうちに家を出る。

当時の月寒といえば、清田から見れば大都会。いろいろな店や病院があつて、たいいていの用事は月寒で足りた。当時、煮しめ一皿五銭、煮ごりが十銭。大正十三年、丸井デパートが火事になって大騒ぎになったのを覚えている。

そのころ、定山溪鉄道の豊平駅から月寒までの間で、四、五軒ぐらいの人家しかなかった。自動車やバスなんかも少なかった。でも、定鉄だけは結構もうけていたようだ。

豊平町と札幌市の合併問題が持ち上がった。豊平・平岸・美園・月寒が合併賛成派。清田・石山・滝野・藤の沢などが合併反対派で町を二分したものです。結局は、昭和三十六年に札幌市と合併したが、今となっては良かったと言うべきでしょうね。

(三)昔の真栄・平岡の周辺

私の先々代が入植したころは、桂の木が多く、これがまた、根を取るのに結構掘らなければならぬからたいへんだった。

厚別神社は、最初、現在の清田幼稚園のある辺りにあつて、敷地二万坪といわれていた。大正六年に現在の場所に移ったんです。地形からみても、敷地からみても、北海道神宮に次ぐ神社だと、私は思います。

平岡付近も、畑作では収入が少なく、生活が厳しかったから、先代の人たちがいろいろと考えて、リンゴなんかを栽培していました。リンゴはアメリカからのものだから、番号で識別をした。紅玉が六号、国光が四十九号といったようにね。

味の良いものを作ろうと、高価な肥料を使ったりもしました。自分で食べる分だけ、砂糖を追肥に使ったこともあります。これは、なんともいわれない甘味があつておいしかった記憶がある。

明治39年3月7日  
厚別本通に生まれる。

# 今 パークゴルフが楽しい 評判の平岡公園パークゴルフ場を訪ねて

「草が いいですね」  
「手入れがいいんですよ。  
此処は……」

さすが、札幌で最高と評判の高い『平岡公園パークゴルフ場』毎日の利用者が二百五十人を越え、町内会・老人クラブ・企業・職域などの大会が年間五十回以上も行われる実績が人気の証拠です。

その秘密は、このパークゴルフ場の完成と同時に結成された『平岡公園パークゴルフ同好会』という大きな組織による適切な対応・施肥・芝刈り・散水……などの弛まぬ奉仕活動があつての結果と言われています

同好会は、現在六百名を越える大世帯、会員は平岡地区を越え清田区全域に広がり各町連ごとに支部を設け、しっかりと組織活動を維持しています。

同好会の矢野会長は言います。

「この会には、国際パークゴルフ公認指導員が十人、パークゴルフ協会認定のアドバイザーが六十人など資

格や技量のある方がおられます。その方が、いつも皆さんと一緒にプレーを楽しみながらルールやマナーについてお世話するといういい役割を果たしてくれています。

しかし、何といつても大事なことは、同好会が主体になってゴルフ場の維持・管理を積極的に行っているということなのです。

緩やかな起伏に少々おねじれのある斜面のAコース、平坦で直線が多く易しそうでそうはいかない難しさのあるBコース、ともに手入れを怠りさえしなければ皆さんが「此処ぞ」とやってくる。そして、仲間ごとにカップを狙う楽しいドラマを演じてくれます。

シーズン中の管理・運営を担う役員さんは、大勢のパークゴルフファンが喜んでくださるスポーツ交流の場を提供できることが、地域のスポーツ文化の向上に役立つと思えば、暑さの中の作業にも心がこもると云いながら頑張っています」

と、対応して下さった会長さん・廻さんのつやつやと日焼けした顔や腕の茶褐色の色の濃さが、何よりもその気持ちの強さをものごとくしていました。



このコースは、梅公園の花が終わるとA・Bコースともオープンします。

コースの南・北が深い樹林に覆われ、春から夏は鳥の声・蝉の音が楽しめ、秋にはトンボの羽がキラキラ光り、シラカバの黄色・ナナカマドの紅葉が秋色を添えます。プレー中にほの暖かくなつた顔に秋冷えの空気が気持ちいい。

これ程恵まれたゴルフ場でも、裏には悩みもありま

す。それは運営の予算にかかわることです。主な収入は会員の会費とホールインワンの喜びを百円の自主カンプとして蓄えていく浄財で賄っています。財政難は、殆ど労力奉仕で補っています。

それにしても、この5日程のパークゴルフ場が、近隣高齢者の心身の健康と人間関係の広がりや深まりなど：大きな成果を上げているとすれば、高齢化のすすむ大都市にとって大切な施設と運動を支えていることになりました。

札幌市には、八十七箇所のパークゴルフ場があると云います。今後、その数が少なくなつたり・質が劣つたりしていくことは大変悔しいことです。ここは、札幌市が唱える豊かな地域づくりのキャッチフレーズ『パートナーシップ』の施策に期待が寄せられます。

ゴルフ場を訪ねた八月六日の午後： みどり鮮やかな芝生の中のカップの近くに、華やいだ色とりどりの仲間たちが明るかった。

(W)

## 「保護司会」だより

豊平保護司会清田分区分  
平岡地区保護司 小林 光俊

(一) 社会を明るくする運動  
七月は社会を明るくする運動の強調月間として、法務省の主唱により全国的な運動が実施されました。

最近の犯罪情勢は、殺人強盗等の凶悪犯の増加が目立っており、又少年の非行も殺人強盗・薬物乱用事犯等が増加しております。問題がないと思われようような普通の家庭でも、全く予想も出来ないような恐しい犯罪が発生し憂慮すべき状況にあります。



この運動は  
◆一人ひとりの住民が犯罪や非行の防止と  
◆罪を犯した人たちの更生について理解して頂き  
◆それぞれの立場で力を合わせて

◆犯罪の予防と  
◆少年達が悪い方向に走らないよう支え合って  
◆明るい町を築こうとする  
こと  
を、目的にしています。



(二)保護司の活動

保護司とは、罪を犯した人や非行に走った少年の更生を支える仕事をする民間のボランティアです。  
法務大臣から委嘱された非常勤無給の国家公務員です。地域性、民間性の特色を生かして専門的知識をもつ保護観察官と協力して、保護観察(罪を犯した人たちは何らかの処分を受けたあとと社会生活を続けませんが一定の約束事を守らせることを義務づけること)を受けている人の立ち直りに必要な指導助言をしたり、街頭活動、講演会、スポーツ大会等の防犯活動を行うなど多岐に亘る活動をしています。

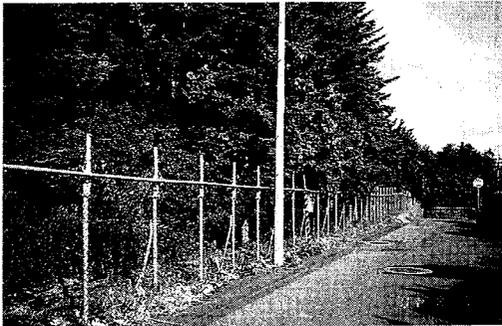
この活動には、地域内の学校、PTA、町内会、青少年育成委員等の密接な連携と強調、更に地域住民の皆様方のご協力があつてこそ効果をあげることが出来るものです。  
深いご理解とご協力をお願い致します。

ジャスコの樹林地

ゴミの投棄で汚さないで!!

ジャスコ札幌平岡店は、平岡三条五丁目において昨年十一月より営業開始しました。

以来、清田区の緑地として「ジャスコの樹林地」に



(ゴミがフェンスを越して投棄される北通り)

ついでには現状維持をモットーに周囲にフェンスを巡らして沼地の生物・豊かな樹林を保護してきました。  
しかし、この春から不特定の心なき方々のゴミ・不要物・食べがらなどがフェンスを越えて投棄され自然が汚され、美観を損ねています。

樹林とみどりとおアオサギを大切にしましょう。

(保健・衛生部)

新しい橋が出来ます

橋の名前を募集します

橋に名前を付けてください

町連「広報」委員会  
平岡公園は札幌市最大の梅林を持つ総合公園であり、私達平岡の住民のシンボリックな公園です。

ところで、この公園内には、三里川が南北に流れており、三里川を渡るためには現在下流側(北側)から新三里川橋(厚別中央通)と里塚橋(パークゴルフ場近辺)しかなく、上流部に北野通の延長に伴う里塚大橋が建設中という状況です。上流側にお住まいの方にとっては里塚橋もあり、ま

た、建設中の里塚大橋が完成しますと平岡公園への出入りは更に容易になります。が、下流側にお住まいの皆さんが梅林に入るためには、厚別中央通りの駐車場まで回り込まなければ入れない状況です。

そこで、札幌市では新三里川橋と里塚橋の中間付近に新しい人道橋を今年八月下旬から工事にかかり、北側にお住まいの方の利用の便を図るとのことでした。

新しい人道橋は今年十二月下旬に完成の予定で、来春供用開始の見込みですが、この橋に町内の皆さんで素敵な親しみやすい名前を付けたいと考えています。

厚別中央通りに面した駐車場入口から入ったところにある「梅の香橋」のような良い名前を考えてください。お子さんの応募も大歓迎ですので、ご家族皆で考えて是非ご応募願います。  
応募用紙は現在町内会で回覧して貰っているところですが、平岡連絡所にも応募用紙を置いてありますので、足りない場合は、連絡所で貰ってください。

ご挨拶

平岡しんたく自治会長



谷 渡

「和をもって 貴しとなす」  
聖徳太子が制定したと十七条の憲法第一条ですが、既に先輩各位のご努力によりこの言葉どおりの基礎が確立されている平岡しんたく自治会の会長として、私は四月から会員並びに役員各位のご支援とご協力をいただきながら、最善を尽くすべく努力をしているところでございます。  
全会員が健康で仲良く生活をおくることのできる環境を醸成することは、ゴミステーションひとつを取り上げてみても、誰しもが自宅の前をゴミステーションとすることは好まないでしょうが、向こう三軒両隣り仲良く互譲と寛容の心を持つて、このことを解決していただくほかはないと考えられますし、利用する会員も定められた時間等を守り感

謝の心を忘れず利用していただくことが、問題解決の鍵となると思われます。

また、たまり場になる恐れがあるとする「どろんこ公園」ですが、公園の目的を今一度見つめ直し、健全な子ども遊び場、交流の場となる環境を創っていくことが大切と思っています。

昨年、会館建設と同時に「地縁による団体」として札幌市長から認可を受けております。

この町のなかに住所を有する人達が地縁により共同活動をしていく、私もその一端を担っているわけですので、平岡地区連合町内会の皆様のご指導をいただきながら、一歩前進を目標に努力してまいる所存でございますので、よろしくお願ひ申し上げます。

### 春のバスツアーを終えて

平岡公園町内会

総務部長 笹岡 浩二

五月二十日 日曜日、今年で二回目を迎える『バスツアー』が参加者八四名、三台のバスを連れ出発しま

した。

向かうは千歳「サケのふる里館」見学、恵庭「サッポロビール工場」見学、昼食 恵庭「ラホール恵庭」での入浴、快晴の一日であったのが何よりでした。

役員によるわかバスのガイド、皆様楽しんでいただけたでしょうか。

試行錯誤、町内会の親睦の場として考案、まだ手探りの『バスツアー』の出発でした。

約八〇〇世帯の町内会の皆様をとうてい全員参加していただくべくもなく回覧による募集で頭を悩ますのが参加人数、豪華であればそれは参加者にとつてうれしいでしょうが、一部参加者のために沢山の費用を掛けられるべくもなく、さて来年は……。



## 俳句

『沖繩』

直行の沖繩すぐに

蝶と逢ふ

あきらかな潮道夏の

平安名崎

岬まで鉄砲百合の

連なりぬ

夏近し東も西も珊瑚礁

大らかなシーサーの口

暮れかぬる

## 短歌

淡墨の桜を見んと地図広げなぞりて行くは心菜しも

紅梅の下に集ひて握り食む至福と言はんこのひとときを

枝に止る懸巢とびたち梅の花音なく散りて匂きはだつ

宝物とポケットよりだす孫の手に変哲もなき石ころ五つ

二世帯の暮し始まりおほよそに夕餉に漂ふ匂異なる

平岡第五町内会

高野 スエ

## 編集後記

平岡「町連」は、十二の専門事業部を設け、それぞれが独自の目的に添って事業を計画し、地域のみなさんの参加・協力をえながら住み心地のよい『私たちの平岡』づくりに努力しています。

広報「ひらおか」は、その中であって、  
・各事業部の活動のようす  
・各町内会の動き  
・平岡のトピックス（住民投稿大歓迎）  
・平岡の人ならどなたでも応募できる文言欄

などを一応の枠組みと考案編集しようと考えました。そのことが、平岡地区の町内会・自治会間で互いに喜びや悩みなどが分かり合え、それを契機に地域の福祉活動・文化活動などが活性化することも期待出来るように思えるからです。

今回は、そんなことをイメージしながらの構想でしたが、担当者・編集委員が新しく代わり原稿依頼のルートすらなかなか自力では開拓できず、大橋会長はじめ各事業部部长さん・一部の町内会会長さん・前山下広報部部长さん・飯塚連絡所長さんなど多くの方々のご好意・ご協力を戴きましたこと感謝しております。

また、各町内会長さんには、新年度の忙しい時期に編集委員の選出をお願いし広報部会と常任委員会を組織することができました。

こうして、地域の広報誌「ひらおか」……が完成。(渡辺)